

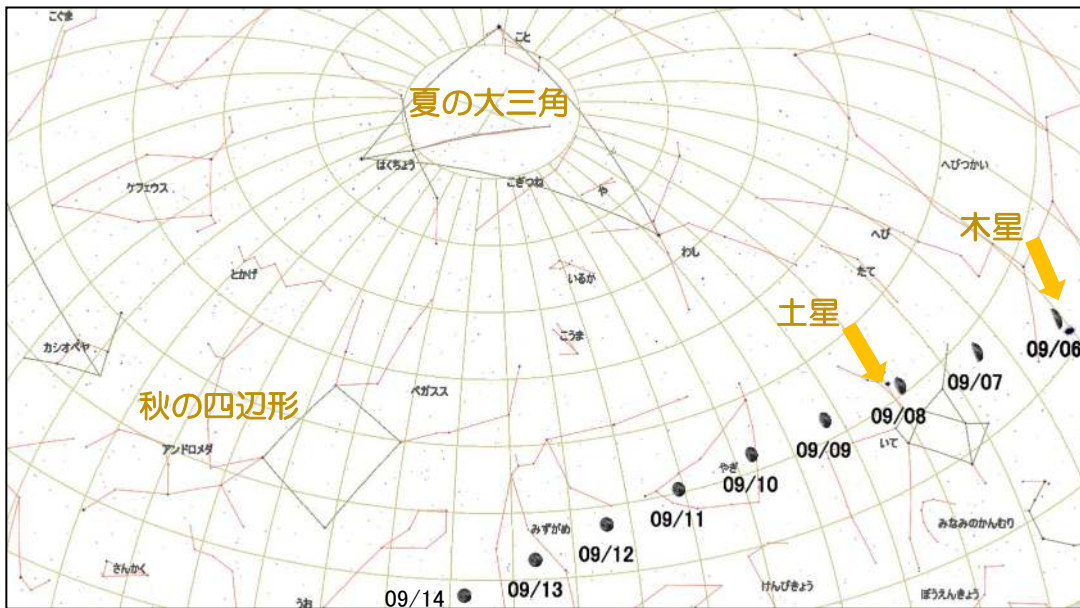


ジオスペース館だより

夏の終わりを告げるように、吹く風にも秋の気配が感じられるようになりました。「夏の三大角」はまだまだよく見えています、東の空に目をやると、秋の訪れを告げる「秋の四辺形」に気づきます。

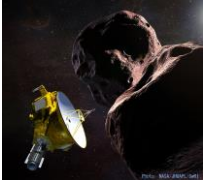
★ お月さまに注目! ★

今年(ことし)は9月13日が「中秋の名月」です。なぜこの日なのでしょう？昔(むかし)の暦(きよれき)(旧暦)では、月の満ち欠けをもとに、新月から次の新月までを1ヵ月としていました。また、春・夏・秋・冬、それぞれの季節は3ヵ月とし、秋(あき)は7月・8月・9月と決めていたのです。だから「中秋」って何のこと？といえ、昔の暦で秋のまん真ん中にあたる8月15日のこと。しかも、15日は月の満ち欠けの周期の約半分にあたり、ほぼ満月のため、「中秋の名月」といわれているのです。その中秋の日を今の暦に当てはめると、毎年同じではなく、今年(ことし)は9月13日。どうしてそうなるのかというと、簡単にいえば月の満ち欠けの周期と1年の長さが、ズれているからです。というのも、今の暦(しんれき)(新暦)は、地球が太陽の周りを1周すると1年と数え、1年は約365日。旧暦では、月が地球の周りを1周すると1月=約29.5日と数え、1年は354日。つまり、旧暦は新暦より1年で11日少なく、1年に11日ずつ日付がずれてしまうのです。だから、「中秋」の日付は、旧暦では毎年8月15日ですが、新暦では、毎年日付がずれてしまい、いつもぴったり満月とはならないのです。



9月初旬午後8時頃
夏の三大角～東の空と月の位置(6～13日)
9月6日、月の近くに見える明るい星は木星です。9月8日に月の近くに見える明るい星は土星です。
9月13日の「中秋の名月」は、今年(ことし)は満月よりも1日早く、翌日14日が満月です。

☆ 初秋の星空探訪 探査史上最も遠い小惑星ウルティマトゥーレ



～ 冥王星探査機ニューホライズンズの活躍 ～

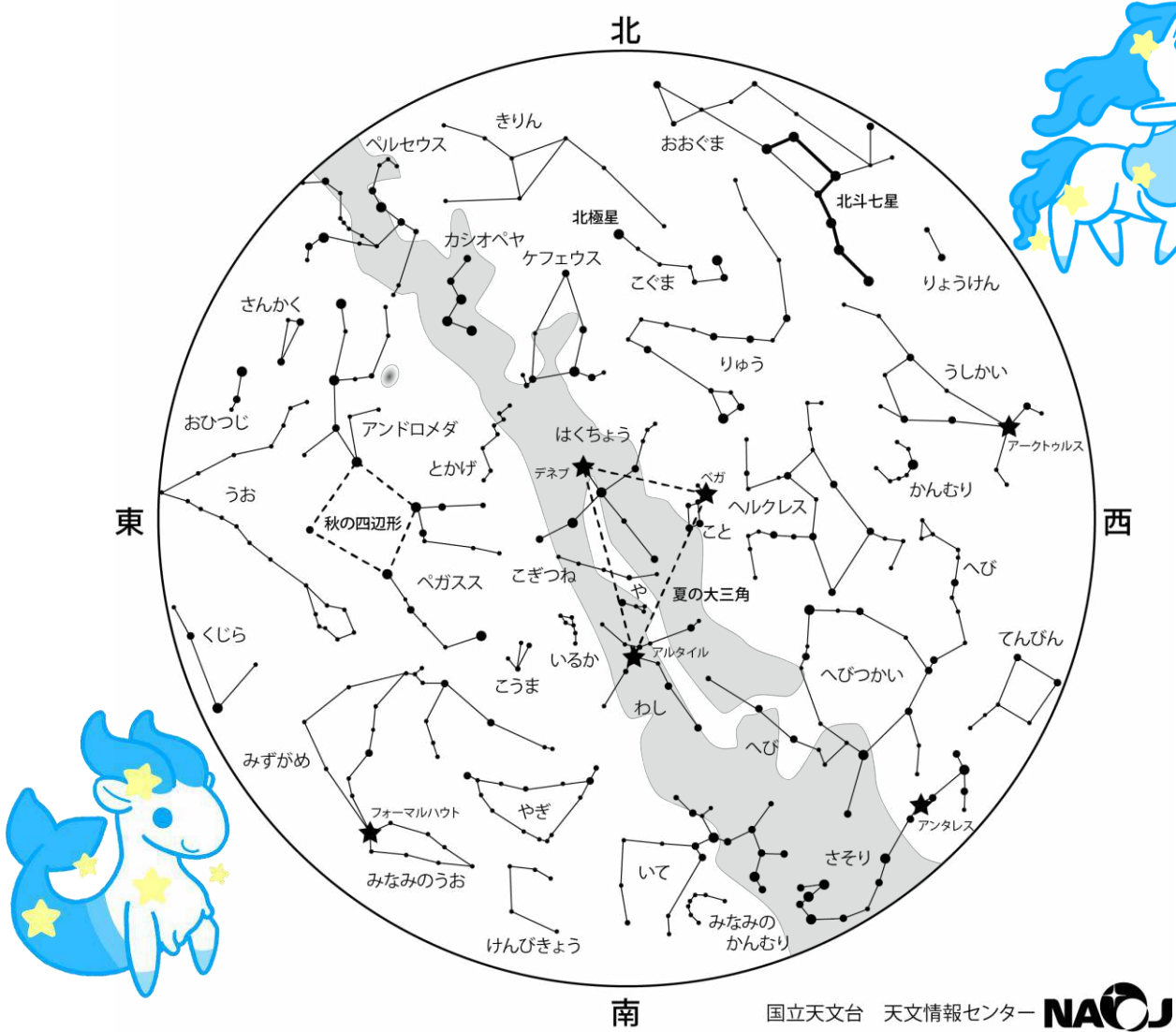
講師：浅田英夫(天文研究家)
日時：9月28日(土) 15:00
定員：120人(先着順)
申込：9月7日(土)から、中央図書館2階事務室で参加券を販売
会場：ジオスペース館プラネタリウム
費用：300円

☆☆ 9月のプラネタリウムのご案内(1木～) ☆

平日	15:00～	宇宙への旅 FROM EARTH TO THE UNIVERSE
土日祝	10:30～	こぐま座のティオ 星空だいぼうけん(8/22から) 一般放映、初登場!!
	13:30～	プラネタリウムちびまる子ちゃん それでも地球は回っている(字幕付)
	15:00～	宇宙への旅 FROM EARTH TO THE UNIVERSE

☆プラネタリウムのお休み 9/2(月)、9(月)、17(火)、18(水)、24(火)、30(月)

9月上旬午後10時頃の星空



国立天文台 天文情報センター **NAOJ**

★ 9月上旬の主な天文現象

3日(火) 水星が外合 (太陽の向こう)	洋で食)、海王星とみずがめ座 ϕ 星が接近
4日(水) 火星が合 (太陽の向こう)	13日(金) 中秋の名月、
6日(金) \bullet 上弦、月と木星が接近	月の距離が最遠(406,377km)
8日(日) 白露、月と土星が接近 (インド)	14日(土) \circ 満月

★ 宇宙ステーション(豊川での主なデータ9/1~15) ※ 下記時刻は、予想値です

◇ 9月 1日(日) [見やすさ \circ]	3:17 西	~	3:19 北
◇ 9月13日(金) [見やすさ \odot]	4:48 北西	~	4:54 東南東
◇ 9月14日(土) [見やすさ \odot]	3:59 北北西	~	4:05 東
◇ 9月15日(日) [見やすさ \odot]	4:47 西北西	~	4:53 南南東

豆知識：国際宇宙ステーション (ISS) は、明るい星が動いているように見えます。
飛行機のような赤緑ランプの点滅はありません。